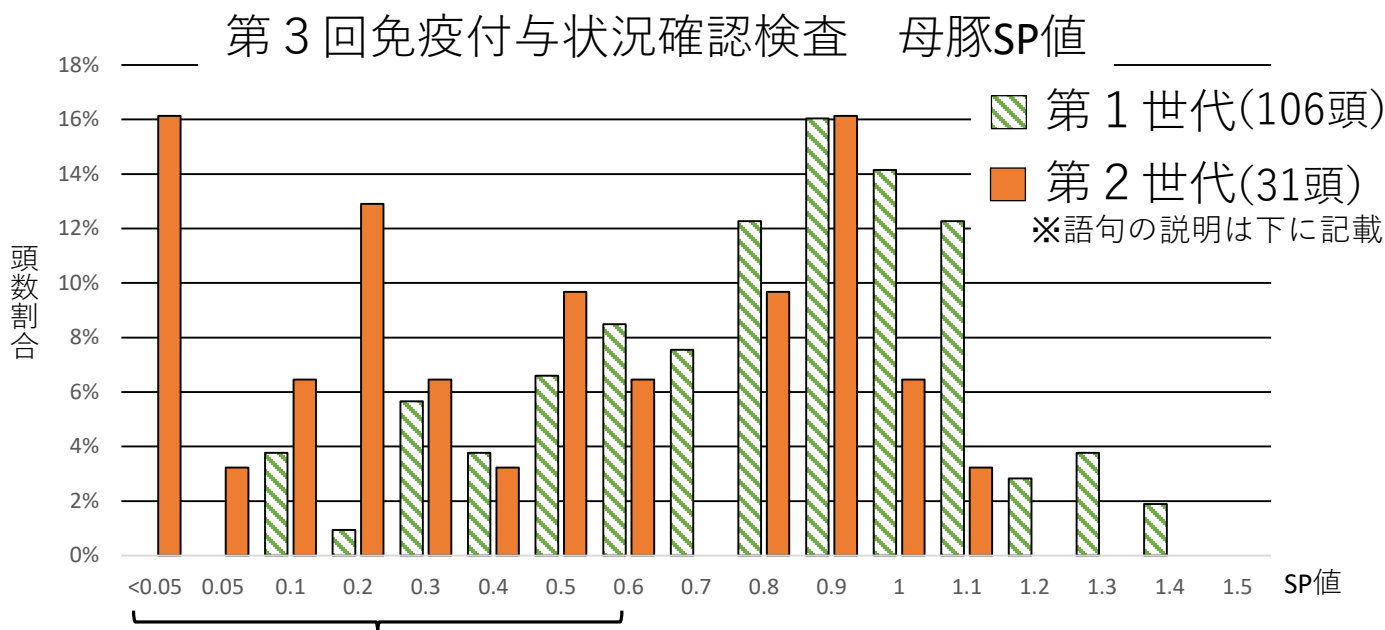


# 母豚の豚熱抗体価の分布が変化しています

指針に基づく半年毎の免疫付与状況確認検査から母豚の抗体価（抗体量）の分布（ELISA S/P値による）が変化してくる兆候が確認されました。



## ※ 第2世代で抗体価が低い母豚の割合が上昇

<p>第1世代</p>	<p>免疫を持たない状態でワクチン接種された母豚。 強い免疫反応が起こり、抗体価が高く上昇する。</p>	<p>移行抗体なし → 高抗体価に</p>
<p>第2世代</p>	<p>移行抗体を持った状態で接種された母豚。 低～中程度の抗体価となりやすい。</p>	<p>移行抗体あり → 低～中抗体価に</p>

低抗体価の母豚から生まれた子豚は  
移行抗体による免疫が早期に消失してしまいます。

現在、母豚の抗体価の高止まりを確認し、子豚のワクチン接種日齢を遅らせています。今後も母豚の抗体分布が変化することが想定されるため、家保で定期的に接種適期の推定を行います。ぜひご活用ください。